

パワー浜松ロータリークラブ週報 2014年3月25日号

パワー浜松ロータリークラブ(2013-14年度会長:松本好司)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC

本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～



第527回例会3月25日(火)AM7:30~8:30オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:木村満義 ■点鐘:松本好司
- ロータリーソング:「希望のエネルギー」「夢のみずうみ」
- ゲスト:国際政治学博士 甲山員司様、青少年交換留学生 マリーヌさん
- 議事:広報IT推進部会 甲山 員司様 卓話『国際経済と政治の現状と今後の動き』

出席報告

本日出席率
66/81名
81.4%
前々回出席率
85.1%

会長挨拶

今日は、会員の福地さんからの紹介で、甲山員司様をお迎えし卓話を頂きます。卓話は、日本企業が海外に進出する上で、海外と日本を繋げる仕事を積極的に展開され、色々な企業の実情、海外の実情を研究されたお話です。

先週ミャンマーに行かれた5名の方、本当にお疲れ様でした。報告例会を楽しみにしています。

いよいよ今週末IMが開催されます。合唱練習も残り1回と当日リハーサルと、数少ない中で第7分区の皆さんを歌でお迎えしようと準備しております。体調、声の調子を上げて頂き結果が出せたらと思います。

4月の例会は、第2例会が次年度に向けたクラブ協議会です。第3例会は、ミャンマーの報告の発表です。4月最終例会は、家族例会として、花博例会を予定しております。素晴らしい花と自然に巡り合えて、みなさんや、家族とのコミュニケーションが出来たらいいなと思います。

幹事報告

- ① IMの出欠について変更があれば3月27日(木)までにご連絡下さい。
- ② 合唱練習
3月27日(木)19:30~ アクト研修交流センター3階
- ③ 4月6日(日)地区協議会がグランドホテルで開催されます。ご出席される方は改めて日程等をご連絡いたします。
- ④ 次回例会は3月29日 IM です。来週はIMによる例会変更のため休会です。IMの次は、4月8日(火)朝例会、次年度クラブ協議会です。



委員会報告

IM担当委員会/鷲津有一委員長

今週の土曜日はいよいよIMです。みなさんよろしくお願ひします。

新世代奉仕プロジェクト/リビー副PL

先週の木・金・土と地区の青少年交換学生みんなでスキーに行ってきました。たくさん参加していただき、みんなすごく喜んでくれました。



国際奉仕プロジェクト/中野麻衣 PL

先週、メンバー5名でミャンマーに行ってきました。募金、学用品の寄付ありがとうございました。現地の子供たちに大変喜んでくれました。4月末の例会で報告会を開かせていただきます。

スマイル報告

松本好司、諸星圭吾

甲山員司様、本日は早朝よりお越しいただき誠にありがとうございます。又本日は、国際経済と政治について貴重なお話をありがとうございました。

ミャンマー支援に参加された会員の皆さん

日曜日にミャンマーから無事帰ってきました。みなさんのご協力によって、ミャンマーの子供達に大変喜んでいただく事が出来ました。ありがとうございます。参加した方々にはミャンマーを知って頂く事が出来、また、子供たちの笑顔からは、元気と、やる気と、今回のプロジェクトに参加した充実感を貰いました。この機会を頂いたことに感謝致します。

小田木基行、小澤邦比呂

米山奨学生の蔡遣さんが、今月3月末日で、奨学生を終了致します。そこでお願ひです。一年間頑張ってお願ひ頂いた蔡遣さんに、これからは『頑張れ学資資金』を送りたいと思います。強制ではありません。有志の方たちだけで結構ですので、500円以上で集めたいと思います。3月末日までに、小田木、小澤、事務局までお願ひ致します。ご協力宜しくお願ひ致します。

卓話 「国際経済と政治の現状と今後の動き」

甲山 員司(こうざんかずし)様

担当: 広報IT推進部会

私は、広島県の甲山の出身です。研究者として過ごしていたのですが、1985年のプラザ合意からの円高によって、雑貨、玩具の軽工業が国内で生産できなくなって、海外進出しなくてはならなくなりました。そこで国際事情と業界の事が分かるということでノミネートされてしまいまして、そこから大学と会社の二つを見るようになりました。私は、戦後処理の国連軍についての研究をしております、中近東、カンボジア、スーダン、ベトナム、ベルリンなどを国連の安全保障機能という観点から見てきました。今日は、そこで見た国際社会について話させていただき、そのような国際社会の中で、日本はどう進んでいくべきかを話したいと思います。



現在の国際社会は、コンピュータの進歩を中心に通信、交通などあらゆる産業が今まで人類が経験したことのないほどの早いスピードで進んでいます。しかしながら、人間の意識はほとんど変わっておりませんので、そこに大きなギャップができております。文明の利器はどんどん発達しているのに、今なお世界各地で武力紛争がおきております。これは、国際社会がまだ未熟な社会であることを示しています。

国際社会は366年前の1648年のウエストファール会議に誕生したと言われております。ヨーロッパ諸国以外の地域は「無主地」の下に植民地という差別された形で国際社会に組み入れられました。アジア、アフリカの多くの地域が独立したのは第二次大戦後です。未だに独立できない民族、地域も多数存在しております。国際社会は司法・立法・行政が極めて弱いです。世界政府というのが無いために、各国の合意する条約が国際法の大部分を占めています。国際司法裁判所も有効な裁判を行う事はできません。国際連合の平和維持機能には限界があります。このように国際社会は今も戦国時代なのです。みなさんにも世界に出られる時には世界は戦国時代だという認識でいて欲しいのです。

日本は長い間、世界文化圏の端に位置していたために中央志向が強いです。江戸時代までは中国文化にあこがれて、江戸時代は鎖国230年間によって平和の中で日本人の「工夫する精神」を豊かにして文化を育てました。明治時代になって、向学心と粘り強さ繊細さの分かる技術力によって西欧文明をどんどん習得していきました。戦後はアメリカにあこがれてやってきました。

明治元年の時点で、日本の人口は3000万人でした。今は1.2億人です。自給自足の生活の場合、日本は明治元年の3000万人しか養えません。その4倍もの人が生きていくには、貿易をして、知恵をだして、工夫をしていかななくてはなりません。

日本は大陸の様子が聞こえる位置にあります。1868年に世界に出た日本人は、その島国根性により大局的な世界の情勢が読み切れず、貧乏国にもかかわらず「富国強兵」政策を取って、軍事大国の道を突き進んで、最終的には太平洋戦争での大敗北まで、約70年間「貧国強兵」政策を取るに及びました。その間、歴史的にお世話になってきた中国、朝鮮等の近隣諸国に大変な被害を及ぼして、今なお賠償方法を巡って紛糾が続いています。

日本のこれからの生きる道は、技術大国しかありません。しっかり教育、道徳をして、浜松のやらまいか精神のガッツを作らなければいけません。今も、これからも覇権国はアメリカでしょう。クリエイションは日本人が苦手とすることですが、まねでいいですから、アメリカの新技术を磨いていって、もっといい物を作っていく手があります。それが日本人の生きていく道だと思います。特に通信技術、科学技術を伸ばしていくことが重要だと思います。

是非、浜松が日本の核になって、輝いていってください。

<プロフィール>

1945年8月10日広島生まれで現在は東京に在住しています。

群馬大学と広島県立大学の講師の後、タカラトミー社、エポック社他10数社の会社再建を果たしております。

現在は社団法人太平洋諸島研究所の主任研究員として太平洋の島々について研究をされております。

高校の教科書の監修にもあたっております。